



十三中だより

令和6年11月1日(金) 11月号

校長 吉田 祐一

みずか かんが こうどう
自ら考え行動できる 前向きに努力できる 心を大切にできる

じゅうそうちゅうでんせつ

つく

だい だん

たいいくたいかい

『十三中伝説』を作ろう第2弾 一体育大会一

たくさんの方にお越し頂いた中、18日(金)に体育大会が行われました。“いつしょうけん命はかつこいい”のスローガンのもと、一生懸命、競技に取り組んでいる姿は、見ている者すべてに大きな感動を与えてくれました。

各競技で懸命に走っている姿はもちろんですが、開会式で行進をしている皆さんの堂々とした姿勢、そしてそのあと450人を超える集団が音楽に合わせて行うラジオ体操は圧巻の光景でした。

そして、体育大会の最後を飾ってくれたのは「絆恩友笑～まだ知らない77thのそこの彼方へ～」をテーマにした3年生の学年演技でした。限られた時間の中で作り上げたものでしたが、多くの人の前で精いっぱいの思いを込めた3年生の人たちの心意気を感じました。素敵な最上級生に成長してくれました。

朝の挨拶でも触れましたが、競技者、演技者がベストを尽くすのは当たり前ですが、それを引き出すのは応援者である生徒席にいるみなさんです。なによりも全員で作ることができたことで、また一つ十三中の新しい伝説が作られました。

『十三中伝説』を作ろう第3弾 一生徒会選挙一

25日(金)6時間目、後期生徒会選挙が行われました。5限終了後の休み時間に体育館に入ると、もうすでに立候補者と応援演説者が舞台上で姿勢を正し、緊張した面持ちで座っていました。順次入場してきた人たちは、舞台上の人たちの緊張感に呼応するかのように静かに体育館に入り、整列を始めました。

今回は12人の立候補者があり、少しずつ生徒会の活動への関心も高まってきました。とりわけ演説会で見事だったのは、多くの人がほとんど原稿を見ずに聞いている人たちに語りかけていたことです。もちろん、各自原稿は用意し、ポケットに入れている人もいれば、演台に置いていた人もいました。しかし、自分の主張をみんなのところに届けたいという思いが強かったのでしょう。全員が原稿に頼らず、できるだけ自分の言葉で伝えようとする姿が素晴らしいでした。『新しい十三中伝説』、ここでもしっかりと作られ始めました。